

5月22日(日)開催 ご参加・ご協力ありがとうございました！

ユニセフ・ラブ・ウォーク

共催：日本ボーイスカウト奈良県連盟

まぼろしの
大仏鉄道
遺構めぐり

行程 7.7km

参加費がユニセフ募金になるユニセフ・ラブ・ウォークは、ウォーキングで汗をかき、それが開発途上国の子どもたちの支援に役立つという「健康づくり」と「募金」を結びつけた、英国生まれのユニークな活動です。

今回、家族で参加されたボランティアの方にラブ・ウォークをレポートしていただきました。

5月22日奈良県ユニセフ協会と日本ボーイスカウト奈良県連盟共催でユニセフ・ラブ・ウォークが開催されました。「ボランティアの人たちに会えるから」と小学一年生の娘が即決、熱中症対策のアイスノンとたっぷりの水分をリュックにつめ、家族三人で参加しました。



JR加茂駅前からスタート、途中百年以上前の大仏鉄道遺構や道端の草花を楽しみつつ、ボランティアの方々にもほめて励ましていただき、同年代のボーイスカウトの刺激も受け、娘もしっかり歩ききることができました。アスファルトの照り返しがきつかった分、山道の日陰は涼しく、のぼったりくだったりの道も心地よいウォーキングになりました。わが家はゴール直前コンビニでアイスを買ってクールダウン、終わってみれば8キロ弱とは思えない余力を残したゴールでした。



ゴール地点の光科学館ふおとんでミニ凧工作を楽しんだあと、役員企業からのご協力による抽選会では皆で疲れも忘れて盛り上がりました。

日頃運動不足の主人もすっかり日焼けし、「気持ちのよい季節」

にいい運動ができた、毎週このくらい歩きたい」と、すでに家族で次のユニセフウォークを楽しみにしています。

各個人が支払った参加費は保険代を除き全て募金となり、今回225名の参加で8万円強の募金が集まったそうです。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。参加した人同士交わした笑顔が世界の子どもたちに届くひとときになったと思います。



また親子そろって募金活動や事務所のお手伝いに参加したいと思います。
(ボランティア Y.I.さん 記)

募金協力(学校・その他団体) 2016年1月~6月 ご支援ありがとうございました！

奈良県協会 お取扱い分 (本部への直接振込分を除く)

守屋内科医院、五位堂小学校、易学教室大嶋三零、
たけまるホール、富雄南中学校、富雄第三中学校、三碓小学校、
富雄中学校、元興寺、佐保商事ゴルフ倶楽部、
佐保ゴルフ倶楽部カードメンバーフレンドリーゴルフコンペ、
奈良中学校サッカーフェスティバル実行委員会、
ユニセフラブウォーク、立正佼成会奈良教会
奈良県経済倶楽部 (順不動・敬称略)

※学校内募金等の贈呈式にお伺いいたします。ご連絡ください。

平成28年度「ユニセフ講演会」<奈良女子大学共催>を開催します

インド農村の暮らしー変わるものと変わらないものー

予告です

講師 浅田晴久氏 (奈良女子大学 准教授)
開催日 平成28年10月15日(土) 10:30~12:15
会場 奈良女子大学 Z306教室

メディアで紹介されることの少ないインド農村の暮らしの今を、豊富な現地写真や映像を交えて学びます。

お申し込みは奈良女子大学まで。
(社会連携センター0742-20-3734)

2016年1月～2016年7月 活動報告

2016年 6月21日～7月3日

ユニセフ・パネル展 (奈良県立図書館情報館共催)

「もったいないばあさんのワールドレポート展」

会場 奈良県立図書館情報館ホール

今回のパネル展は、地球で起きている問題と私たちの暮らしのつながりを伝える展示会です。気候変動、食料と水の不足、紛争、難民、児童労働、貧困・格差など、なぜこのような問題が起きているのでしょうか。

「たばこ畑で働くメキシコのサンドラちゃん」「兵士になったシエラレオネのソロリス君」「朝から夕方まで水を汲むネパールのサビトリちゃん」「幼い兄弟の世話をするソトのマツィディソちゃん」「ゴミを拾って暮らしを支えるインドネシアのカリム君」「難民キャンプで暮らすスーダンのアハミド君」「地雷を踏んで足を失ったカンボジアのケオ君」「住む家がなくて暮らすロシアのヴィトヤ君」・・・



絵本作家の真珠まりこさんによって描かれた、笑顔を失った子どもたち。一枚一枚の絵に込められた声なき叫びが聞こえてきます。人工知能やロボットと共に豊かさ溢れる中で暮らす、まさに21世紀の子どもがいれば、かたや学校に行くことも許されず、子どもらしく生きることすらできない子どもたちがいます。



どの国に生まれても未来の希望であるはずの子ども。心も身体も健康に暮らせるように、豊かな国に暮らす大人たちがすべきことは――。生命を一番に考え、その大切さを伝えるために、

真正面から、もったいないばあさんが語りかけています。

「もったいない」という言葉を通して、世界の大きな課題と私たちの暮らしとのつながりを、子どもたちも知ってほしいと感じました。心に強く残るパネル展と出会えました。(ボランティアT.M.さん記)

「ユニセフ」の調査・探究で 100人アンケートを実施

小学校6年(現在、中1) 北東友愛さん

アンケート調査を行ったのは、奈良女子大学附属小学校6年(現在、同中学1年)の北東友愛さん。日頃使っている日記帳の裏表紙に、「私たちはノートの売り上げの一部をユニセフに寄付しています」と書いてあって興味を持ったことがきっかけとなり、同校が推進する「なかよしラボ」で「ユニセフ」を研究することに決めたとのこと。

どの年代の人にユニセフは知られているのか、どのようにしたら多くの人にユニセフを知ってもらえるのか・・・の答えを探して、アンケートは小学生から70歳代までの100人を対象に、西大寺駅前で行われました。

アンケート結果

「ユニセフの名前はほぼ全員が知っている」
しかし「ユニセフの活動内容を知る人は5割」
そして「7割の人がユニセフ活動に関心あり」

アンケートの結果、ユニセフの名前については小学生の一部を除いて、ほぼ全員が知っていました。しかし「栄養補助食品の提供」「井戸づくり」などユニセフが現地で支援している具体的な活動内容となると、残念ながら、知る人の割合は5割まで減少しました。

このアンケートで友愛さんが注目したのは、「ユニセフの活動に参加してみたいですか。興味はありますか。」という質問への回答でした。「はい」と答えた人は20～30歳で85%ととても高く、その他の年齢層でも「はい」の比率は57～75%と高かったことです。友愛さん自身も「やれることがあればやってみたい」と感じたとのことでした。

研究発表の中に、『未来を担う私たちが、世界の困っている人たちを助けるためには、もっとユニセフの活動内容を知らなければならないと思った』という友愛さんの言葉を見つけ心強く感じました。

「ユニセフを知っていますか」「ユニセフの活動に参加したいですか」「小学6年生が駅前アンケート調査

一 出前学習会を行いませんか

奈良県ユニセフ協会ではスタッフが学校を訪問して学習を行う、出前学習(講師派遣)を行っています。

映像や体験などを取り入れ、「今、世界でどんなことが起きているのか」「世界の子どもたちはどんな生活をしているのか」を学びます。(事務所までお問い合わせください。)

※ DVD教材の貸し出しも行っていきます



中学校での出前学習会

出前学習会の進め方

- ① 学習会の打ち合わせ (約1か月前)
日程調整、プログラム、配布資料
体験学習(水がめ運び、蚊帳つり等)
- ② 会場・教室の下見 (約1週間前)
プロジェクター、作動・映写確認
- ③ 出前学習会の開催 (当日)

学校紹介(ユニークな活動への取り組みを紹介します)

奈良市立 富雄中学校 生徒会長 川口さん

「古本バザー」と「富より団子」と「エコ石鹸」

毎年、生徒会が中心となってユニセフ募金にご協力をいただいている富雄中学校。募金に向けてのユニークな活動を、生徒会長からいただいた手紙でご紹介します。

はじめまして、富雄中学校生徒会長の川口です。今回のユニセフへの募金は、現在富雄中学校で行っている活動で集めたお金です。その活動を紹介させていただきます。



学校内での古本バザー

1つ目は古本バザーです。富雄中学校の生徒が、いらなくなった本を集め、学校内で生徒、保護者、先生方が買ってくださいます。集まったお金は14,087円です。

2つ目は「富より団子」の販売です。「富より団子」は富中生が古代米を使用して作った団子です。中にあんこが入っていてまわりはゴマがかかっていて、とてもおいしい団子です。地域のお祭りなどでのチャリティの収益金です。12,000円集まりました。



エコ石けんを手づくり

3つ目は夏休みに手作りしたエコ石けんの販売に取り組んだ収益金です。夏休みに富雄北小学校の児童と富雄中学校ボランティア部員が天ぷら油などを混ぜて作ったエコ石けんで、富雄ふれあい秋祭りで販売

ボランティア活動日誌

「ユニセフと私」 黒田 和海 (ボランティア)

世界には紛争、貧困、自然災害等による、乳幼児の高い死亡率などで5歳まで生きられない子どもたちがいることをユニセフ活動の情報誌で知ったころ、私は長男の病死を体験しました。

——長男に命の重さを教えられたように感じたことがユニセフに関わるきっかけとなりました。

働きながらのボランティア活動は厳しい時もありますが、ボランティア仲間との会話などで、新しい見聞に参加の意義をみつけることもあります。

また、昨年の出前学習会で60年ぶりの母校訪問は、ユニセフ広報活動の重さを認識しました。児童の1人が私のそばに来て、「本当に電気も水も・・・ないの??」と尋ねました。彼、彼女たちが、この活動を知ったことで、『これからは世界の恵まれない子どもたちのためにできることをします』と感想文に書いています。

ボランティア活動は継続的に参加することにより対象者に寄り添うことではないだろうか最近では考えています。可能な限りこの活動に参加しようと思っています。

した時の収益金です。集まったお金は3,800円です。

病気や貧困で苦しんでいる子どもたち、東日本大震災やネパール大震災の復興などに役立てていただけたら嬉しいです。これからもユニセフに役立つ活動をしていきたいと思います。

(富雄中学校生徒会長 川口さん 記)

出前学習会の感想文

香芝市立五位堂小学校 5年生の皆さん



「きれいな水が飲めなくて命を失うなんて・・・」

昨秋、出前学習会を行った香芝市立五位堂小学校5年生の皆さんから感想文が寄せられました。その一部をご紹介します。

10円や100円のできることを知って募金をしようと思った

外国で、子どもが辛い思いをしていることを知りませんでした。食べ物がなく、きれいな水が飲めない国、子どもがはたらかないといけない国など。日本は幸せな国だと思いました。「10円や100円のできることを知った時、少しでもいいので「ぼ金」をしようと思いました。」 (M.S. さん 記)

5才になる前に死んでしまう子どもが沢山いるなんて

ユニセフがどんな仕事をしているのか、知ることができました。世界には、5才にならないで死んでしまう子どもが沢山いること、学校へ行けない子や紛争に巻き込まれる子がいるなんて、本当にかわいそうだと思います。 (S.T. さん 記)

学校にいけない子どもなんて想像もつかない

先日はたくさんのお話を聞かせてもらいました。病気でなくなってしまう子ども、学校にいけない子どもなど、想像もつかないけれど、本当のことだと思うと、とてもかわいそうだと思います。ユニセフの方からたくさんのお話を学びました。 (S.K. さん 記)

ご協力、ありがとうございました!

2016年1月～2016年6月までの間、奈良県ユニセフ協会にお寄せいただいた募金総額は、

¥1,521,312.- にのぼりました。

皆さまの温かいご支援に
心よりお礼を申し上げます。

※振込用紙の通信欄に「県協会コード K1-290」とご記入いただいた分も含みます



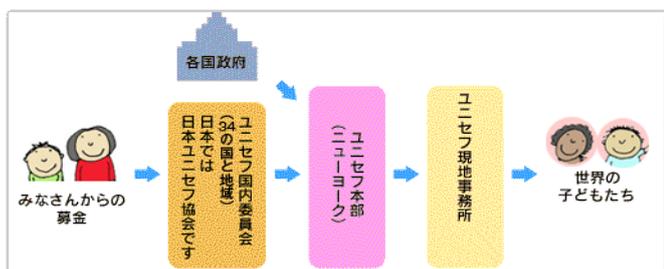
募金のお願い

ユニセフの活動は皆さまからの募金に支えられています。ご協力をお願いいたします。

- * 奈良県ユニセフ協会事務所へご持参ください。
- * 郵便局からの振込の場合は
郵便振替口座 00190-5-31000
口座名義（公財）日本ユニセフ協会
- 通信欄に「K1-290 奈良県ユニセフ協会」とご記入ください。
- 送金手数料は免除されます
- * 募金は寄付金控除の対象となります。



募金の流れ



イラスト：Hiromi Ushijima

編集後記

世界の各地で理不尽で卑劣なテロ行為が恐怖や危機感を煽り、大勢の人たちに避難の生活の脅威を植え付けています。特に子ども達が受けている困窮の度合いは大きく、成長や生活レベルの低下、将来への不安を増長させています。

県ユニセフ協会では、講演会・出前学習・写真パネル展のほか各種イベントや募金活動等の機会をとらえ、すべての子どもたちが健やかに成長できる世界の実現を目指して、皆さまからのご協力をお願いしております。



今後とも皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。(M.K.)

※ 鹿のイラストはすべて、ボランティア大西好美さんの作品です。

ボランティア募集

奈良県ユニセフ協会では、下記の活動を手伝っていただけるボランティアを募集しています。

学生の方も大歓迎です。

世界の子どもの現状、ユニセフやボランティア活動に関心をお持ちの方、私たちと一緒に楽しく活動を始めませんか。

お気軽に事務所までお問い合わせください。

- ◆ 募金活動
- ◆ イベント参加
- ◆ ユニセフ学習会講師
- ◆ 機関紙発行
- ◆ 事務所でのお手伝い



賛助会員募集

日本ユニセフ協会の趣旨に賛同してくださる会員を募集しています。

賛助会員とは、日本ユニセフ協会と奈良県ユニセフ協会の運営を、年会費によってご支援いただく方法です。

種類	対象	賛助会費	賛助会員期間
一般賛助会員	個人の方	1口5千円	入会月～1年間
学生賛助会員	18歳以上の学生の方	1口2千円	入会月～1年間
団体賛助会員	団体・法人・企業	1口10万円	入会月～1年間

- * 一般・学生賛助会員は、個人名でのお申し込みに限ります。
- * 賛助会費は寄付金控除の対象になります。
- * 会員期間は入会月から一年毎の更新となります。
- * 賛助会費は、1口以上何口でもご協力いただけます。



奈良県ユニセフ協会

〒630-8214

奈良県奈良市東向北町21-1 松山ビル3階

TEL : 0742-25-3005 / FAX : 0742-25-3008

E-mail : unicef-n@m4.kcn.ne.jp

ホームページ : <http://www.unicef-nara.jp/>

※事務所開所日：月・火・水・木 11:00～16:00

募金して頂ける方、ユニセフDVD等の資料をご入用の方、ユニセフ支援ギフトにご協力いただける方など、お気軽にご訪問ください。

